

1

本調査について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月16日に全国に「緊急事態宣言」が発出され、全国の小中学校が休校となる中、乳幼児期の幼児教育・保育施設並びに子育て支援に関わる施設は、休園や登園自粛をとることになり、認定こども園においても子ども達を受け入れるか否かという判断を各園が取らねばならない状況に陥りました。

新型コロナウイルスは未知の病原体であるため、多くの園では、どのようにして子ども達の安全・安心を確保し、保育を進めていけば良いのか戸惑う事ばかりでした。

そこで、全国認定こども園協会では、全国各地の会員園の皆様現場での対応と家庭内での実態の声を拾い、共有し今後の感染症対策と保育のあり方について発信できればという思いや、突然余儀なく登園自粛などで家庭保育をすることになった、就学前の子どもを持つ家庭の実態を把握し、そこから見えてくる課題に対し認定こども園、また、社会全体として何ができるかを考えることを目的としてこの調査を実施することにしました。

本調査は、緊急事態宣言発出後の5月15日から6月6日までの期間行い、協会会員園に Web でのアンケートを依頼し、393ヶ園の回答を得ました。また、就学前の子育て家庭へのアンケートには、会員園以外の幼児教育・保育団体や子育てひろばなどの子育て支援センター等を運営する団体にも協力を仰ぎ、47都道府県 6,108もの回答をいただきました。

この報告書では、協会会員園からのアンケート結果を【施設編】とし、就学前の子育て家庭から得たアンケート結果を【保護者編】と分けて集計し考察や課題提示、提案とした形でまとめました。

緊急事態宣言下の中にあってもかかわらず、多くの会員園の皆様や多くの幼児教育・保育団体様、子育て支援に関わる関係団体の皆様、全国の子育て家庭の皆様方にご協力いただきましたことを心から感謝申し上げます。

この報告書で課題・提案した内容が、今後の感染症対策並びに子ども・子育て支援のための政策議論に取り上げて頂ければと思います。

令和2年 8月

特定非営利活動法人 全国認定こども園協会

新型コロナウイルス感染症対策緊急プロジェクトチーム 一同